

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2012-2013

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：坂口道倫 幹事：阿部吉秀 会報委員長：西村元秀



4

つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

第1491回例会 平成25年4月8日

卓話 「春の移動例会
ザ・ガーデン・オリエンタル・キョウト」
今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

先週内容

会長挨拶 坂口会長



2013/3/2

ロータリークラブの最も基本的な理念は、価値観を共にする仲間と親睦をはかり、向上し、そのうえで社会に奉仕することです。自ら笑み、周りをほがらかにすることで自分も元気になるが如しです。ロータリーソングの「我等の生業」においても、求むるところは親睦であり、求むるところは奉仕です。

幹事報告 阿部幹事

- ロータリー財団より大藤会員へマルチプルフェローのバッジが届いております。
- 次週4月1日(月)の例会は休会となっております。続く4月8日(月)は移動家族例会です。お間違ひのなきようにご予定しておいて下さい。

ロータリー雑誌月間

次週 第1492回 例会予告 平成25年4月15日

卓話「卓話」 尾家バスト会長
Weekly No. 1491は青木委員が担当しました。
Weekly No. 1492は澤井副委員長が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

出席報告 荻田クラブ奉仕委員長

- 会員数 48名 ●来客 0名
- 出席会員数 36名 ●本日の出席率 92.50%
- 2月25日の出席率(メーキャップを含む) 100%

誕生御祝 - 4月

会員

- 昭和35年 4月3日 橋本(徹) 会員
- 昭和26年 4月17日 由上 会員
- 昭和31年 4月18日 山岡 会員
- 昭和28年 4月21日 枚本 会員

以上4名

会員夫人

- 4月12日 石崎 会員夫人
- 4月18日 仲社 会員夫人
- 4月29日 吉田 会員夫人

以上3名

米山記念奨学会委員会 田中(孝)委員長

本日、大藤会員、伊藤会員、河邊会員、青木会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

ロータリー財団委員会 清水委員長

本日、伊藤会員、永田会員、吉田会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

また、2013年4月のロータリーレートは、1ドル=94円と本部より連絡がありましたのでお知らせ致します。

社会奉仕委員会 橋本(芳)委員長

来月、4月1日(月)は江坂企業協議会担当のクリーンデーです。7:30、サニーストンホテル前集合です。多くの方の参加よろしくお祈りします。

交通問題特別委員会 吉田委員長

「春の全国交通安全運動」は4月6日(土)から4月15日(月)まで行われます。その一環として次の通り合同パトロールを行います。(尚、4月の通常のパトロールは全て中止します。)

記

日時 4月9日(火) 9時30分～10時30分

集合場所 江坂公園噴水前

ゴルフ同好会 橋本(芳)会員

改めて、第3回吹田西RC坂口会長杯ゴルフコンペ

- 【日時】 平成25年4月3日(水)
- 【場所】 アートレイクゴルフ倶楽部
- 【スタート】 9:45 OUT・IN同時スタート
- 【集合】 9時までに

プレイ終了後、表彰式をクラブハウスにて行います。

お値打ちグルメ会 伊藤会員



ニコニコ箱 山岡副SAA

- ◆鈴木会員
正月からの長期欠席のお詫びと、レーシック手術の成功を感謝して。
- ◆由上会員
未っ子が社会人になることができました。春の甲子園で国旗の行進、河邊さんのお孫さんが持っておられたのですが、TVで見られました。ゴメンなさい。

- ◆木田会員
前回例会欠席しました。
- ◆大藤会員
司法書士会研修が重なり、休みが続いたことお詫び申し上げます。
- ◆阪本会員
家内の誕生日のお祝い有難うございました。
- ◆瀧川会員
万博鉄道まつり好天に恵まれ大賑わいでした。

本日のニコニコ箱	43,000円
累計のニコニコ箱	958,591円

卓話

日本昔噺 第六話「高天原は何処か」

鈴木パスト会長



本日は日本の神話で有名な「高天原」がどこにあるか、と言う事でお話しをさせていただきます。勿論高天原は古事記に記載されているわけですが、古事記では天上界と言う事になっております。天上界に居られた天照大御神のお孫さんの邇邇芸命（にぎのみこと）に命じて部下の神々を引き連れて宮崎県の日向の高千穂の峰に舞い下りられたと古事記に記載されています。

そして邇邇芸命の後継者が東征してヤマトに入って初代天皇になったこともご存知の通りです。ですから高天原がどこかを特定すると日本の初代天皇はどこから来たのかが判ります。

昔からこの高天原がどこであるかと言う事でいろいろな意見が出ていますが、高天原が日本国内説の人は、宮崎県の日向の高千穂に天岩戸などを想定して、ここが高天原と認定して想像の世界を広げておられます。

次にもう少し現実的な考えの人たちは、朝鮮半島から高度な文化を持った朝鮮豪族が渡来し、彼らがヤマトを目指して東征し、ヤマト王朝を設立したと考え、高天原を朝鮮半島南端の伽耶地方だと言う説もあります。

また、ヤマト王朝が成立したと考えられる西暦300年頃の古墳から中国の呉の鏡が多数発見されているので、中国の呉の地方から強力な渡来集団がやってきて、ヤマト王朝を築いたという説が有ります。その根拠の一つとして彼らはその王朝の歴史を呉の言葉を使い書き残し、それが受け継がれたため日本の古代漢字は呉音がベースになっています。すなわち高天原は当時の呉の国、今の上海地方と言う説です。

しかし、この様に色々と推論するだけでは推理小説の域を出ません。考古学と言うのは必ず物証を基に推論を進めていく学問ですので、本日はこの時代から現代までの2000年近くも腐らずにその姿を残している銅鏡をベースに検証したいと思います。

1世紀から3世紀までの古墳からは前漢鏡(紀元前200-0年)、後漢鏡(0-200年)が朝鮮半島経由で持ち込まれ、その後お墓に埋葬された銅鏡が発掘発見されています。

次に4世紀前後の古墳からは中国・呉(上海地方)の銅鏡が多くなってきています。その中に特に多いのが三角縁神獣鏡と言われる鏡です。この三角縁神獣鏡が沢山発見されていたのでこの鏡は卑弥呼が魏の明帝からもらった銅鏡で有ろうというのが定説になりました。卑弥呼は景初3年(西暦239年)に魏の国の明帝の戦勝記念に貢物をしておりすが、そのお返しに明帝から沢山の贈り物と同時に銅鏡ももらっています。

倭国と卑弥呼の事が克明に描かれている魏志倭人伝に貢物の一覧表が載っており、この中に銅鏡100枚も書かれています。そして本当に景初3年の銘のある鏡が和泉市の黄金塚と島根県の神原神社古墳から発見され、卑弥呼の鏡が出てきたと考古学会は大騒ぎになりました。

しかし、卑弥呼が100枚しかもらわなかった三角縁神獣鏡が、戦後の古墳の発掘調査でどんどん発見され、その数は500枚以上にものぼり、ついにはこの三角縁神獣鏡は卑弥呼の銅鏡であると言う説に疑問が出てきました。そこでこの三角縁神獣鏡は一体どこから、何の

ためにこんなに多く日本に入ってきたのかが問題になりました。

また、京都府福知山の古墳から、景初4年の鏡が発見されました。しかし実際はこの景初4年と言う年号は無く、魏の明帝は景初3年に亡くなり、次の年は正治元年なのに、なぜ景初4年と書かれていたのか問題になりました。それは卑弥呼が魏の明帝からもらった景初3年の鏡に合わせ、その権威を利用するために景初4年の銘を故意に入れたか、魏の明帝が亡くなり年代が変わったことを知らないで景初4年の銘を入れたのか、いろんな疑問が出てきました。

また、この景初4年の鏡をつぶさに研究すると作者の名前が刻まれています。その名前の「陳」と言う漢字や「孫」と言う漢字の偏と旁りが反対になっていました。このように漢字そのものが間違っているものや、年代の間違いや漢詩の文章が韻を踏んでいない銘文など、さまざまな鏡が出てきました。

そこで、これらの鏡が本当に中国で作られたものか怪しいぞと言うことになり、中国の銅鏡専門の王仲殊先生に来てもらい、つぶさに検証してもらった結果、ほとんどの三角縁神獣鏡の製作方法の幼稚さなどが浮き彫りになり、中国製ではなく日本製で有るとの結論がでました。そしてこの種の三角縁神獣鏡は中国では一つも発見されていないことも、日本製である事の決定打になりました。

それでは誰が、なぜそんな鏡を作らせたのかが問題になります。

呉から来た渡来集団は、魏と親交のある倭国の人たちに、自分たちが呉から来たことを隠したかったので、晋の国から逃れてきた魏の遺臣に成りすます事が有利で有ると判断し、新型銅鏡に敢て魏の年号などを入れてこれを大量生産して、当時の倭国の豪族に分け与えて懐柔を図ると共に親交を深めながら同化を図って行ったと思われます。

この情報源は、卑弥呼の後継者の女王台与と接触し、卑弥呼が魏の国から銅鏡を100枚もらったことや、この台与が晋の国から相手にされなくなり、晋に対して不満を持っているという情報を収集したのだと思われます。そ

奉仕を通じて平和を

して彼らは連れてきた呉の工人に命じ、画文帝神獸鏡の神獸部分と、斜縁画像鏡の外側の斜縁部分の三角縁神獸鏡部分を誇張して三角縁神獸鏡を作り、すぐには呉の鏡とわからない様にしましたのです。

この呉からの渡来集団がどれほどの大規模の集団で有ったかは、古事記や先代旧事本記に書かれています。「32人の武将と25部の軍団とその他を引き付けて、天の磐船に乗って哮ヶ峰に天下った」とありますので、それは相当な武力集団で有ったようです。そして、そのヤマト地方の豪族の長髓彦^{ながすねひこ}を制圧して、その妹を妻にしてこの地方に同化していったと書かれています。

この邇芸速日命^{にぎはやひのみこと}がヤマト王朝の基礎を築いたと思われ、近畿地方では沢山の神社で祭られており、古来から伝わる三輪神社も石切神社でも主神として祭られています。そして古事記で高天原から高千穂の峰に天下った邇邇芸命と邇芸速日命は兄弟と書かれていますので、彼らは同族であります。



そして彼らは長髓彦の本拠地の唐子・鍵遺跡^{からこ かが}の近くに鏡工房を何カ所も作り、そこで三角縁神獸鏡の製作をしました。その鏡作りの工房跡は今でも鏡作神社として数カ所現存しております。そのうち田原本町の鏡作神社には、主神として邇芸速日命が天照国照大神として祭られています。

三角縁神獸鏡がヤマト政権に利用された証拠に、ヤマトを中心とした近畿地方の古墳から大量に発見されています。多いところは京

都府の椿井大塚古墳から33枚、奈良県の黒塚古墳からは32枚、宝塚古墳から20枚です。勿論、中国地方、九州地方、関東地方からも多少は発見されていますので、地方の豪族にも分け与えられたと考えられます。

それでは卑弥呼のもらった本物の銅鏡はどのような銅鏡か、又それはどこに行ったのか、などの疑問が出てきます。一般的には当時の魏の国では後漢時代の銅鏡が継承されて使われていたので、卑弥呼のもらった鏡は内行花文鏡や方格規矩鏡で有ったと思われます。そしてそれらの銅鏡は主に北九州で発見されているので、卑弥呼は九州に居て、その周りの王たちに分け与えられ、それがお墓に埋葬されたものと考えられます。

これに反して呉の鏡から作られた三角縁神獸鏡は、特にヤマトを中心とした関西地方に集中しているので、これは呉からの渡来集団がヤマト地方に流れ込み、ヤマト政権設立時に政策的にヤマト地方の豪族を中心にばらまかれたものであると推察されます。

まとめ

三輪神社や鏡作神社に祭られている邇芸速日命は、呉の国から大軍団で磐船に乗って生駒麓にたどり着き、そしてヤマトに入って土地の豪族の長髓彦を取り込んでヤマト地方を制覇していった。一方、九州宮崎にたどり着いた呉からの渡来軍団の邇邇芸命は、古事記では高千穂の峰に天下ったと書かれています。その後継者の神武天皇が日向からヤマトに東征し、同じ呉からの同族集団と結合してヤマト王朝を創立しました。故に彼らの出発地の呉の国が高天原といえます。

今回は高天原がどこであるかを探す古代の遺物として西暦300年前後に日本に急に現れた前方後円墳という墳墓をベースに話したいと思っています。